令和 7 年度 学校評価書 (計画段階)

久留米 高等学校

福岡県立



スクール・ミッション	グローバルな視野を持ち、伝統を守りつつ社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する学校							
/ナサッキナギギ ササッチの中国	充実した英語教育や行事を含む教育活動をとおして、自国と他国の文化への理解を深めるとともに、独自の課題研究活動を通じて、相互理解力や価値創造力、社会貢献意識を持ち、社会課題の解決に取り組む人材を育り します。							
	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)	○海外修学旅行や英語科行事をとおして、国際社会で生きる資質・能力を養う。 ○学校行事をとおして、何事にも積極的に取り組む自主性・自律の精神を育成する。 ○教育活動をとおして、知育・徳育・体育の調和のとれた人間形成を目指し、自己の強みを諸活動に生かす姿勢を育む。						
スクール・ポリシー (三つの方針)		〇総合的な探究の時間におけるディベートや課題研究をとおして「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 〇本校独自の課題研究「NEWセサミプラン」をとおして地域の良さを再発見するとともに、世界や未来の発展に寄与する志の育成を図る。 〇生徒の興味関心を引き出す授業の実践により、主体的に学習に取り組む態度を育成する。						
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)	○学習や部活動及び社会貢献活動に主体的に取り組む人 ○夢や目標の実現を目指し、何事にも積極的に取り組む人 ○多様性を尊重し、異文化交流に意欲的に取り組む姿勢を持つ人						

	学校運営計画(4月)						
学校運営方針			評価				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	(総合)				
・職員は、常に生徒を見守り、必要最小限 の助言や支援によって、その成長を支え	主体的に適切な判断ができる資質・能力の育成を図り、失敗を恐れず物事に積極的に挑戦させることにより、生徒の人間的成長を促す。	 教育活動において、生徒が自己決定し行動する機会を積極的に設定する。 生徒理解や生徒の発達・育成に係る専門的知識を得るための職員研修を行う。 在学中にほとんどの生徒が成年年齢に達することを踏まえて、自立した大人として必要な知識を身に付けさせるとともに、適切な規範意識と判断力の育成を図る。 生徒が校内外の活動をとおして他者や地域に貢献できる機会を積極的に設定する。 					
た。また、職員が面談等により生徒理解 に努め、早期に適切支援を行うことで 生徒の自己肯定感や生きる力の伸長を 図ることができた。 ・本校における生徒指導の良さを継承し、 生徒がより落ち着いて学校生活を送り、 持続可能な教育活動を実施するために 学校行事構選等枚内行事を見直たり、	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善をとおして、知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力および主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	・観点別学習評価の適切な実施をとおして、評価と一体化した指導の充実を図り、指導と評価の改善サイクルの確立につなけていく。 代昊来アンケート等そとには教科会等で検討し、授業や課題の提示の仕方などの具体的な 指導の改善に取り組む。「生徒の学習改善」を促す授業改善を図る。 にTの活用をはじめ多様な指導手法を取りれ、学習象が改喚起し学習内容の理解を深 めるわかりやすい授業づくりに取り組み、学力の伸長を図る。					
時制を柔軟に変更し会議時間や生徒のための時間を確保できるようにした。今後も検証しながら、継続的に見直す必要がある。 親点別評価、パフォーマンステスト等の	生徒理解に努め、安心・安全な学校生活を送れる環境を構築すとともに、特別活動や部活動等をとおして仲間と協力して目標達成に向かう意欲と態度の育成を図る。	・関係者の連携ときめ細かな支援の充実を図り、中途での転・退学の防止に努める。 ・対話を生徒理解の重要な手がかりとして捉えるとともに、二者面談等の充実を図る。 ・生徒が心身の健康を維持し、溌剌とした学校生活を送れるよう支援する。					
充実を図るとともに研修等により授業改善を行いながら、「生徒の学習改善」、主体性及び積極性の向上につなげる必要がある。 ・自他を尊重し、自ら考え、判断・行動し、	生徒が自らの力で生き方を選択できるよう必要な資質・能力を身に付け、生徒が自分らしい生き方の実現を図るための支援を行う。	 生徒の進路意識を高揚するような情報及び機会を積極的に提供し、生徒が進路について 主体的に考える態度を育成する。 生徒の将来のキャリア形成に係る学力向上やキャリアデザイン等の進路課題解決に向けての支援を行う。 NEWセサミブランについて、より「探究」にふさわしい内容への検討を進める。 					
生涯にわたって主体的に生きていくこと かできる生徒を育成し、生徒、保護者か ら信頼され、「開かれた学校」、「地域に 愛される学校」となるよう教育活動を展 開していく。	「英語を学びたい」という積極的な姿勢をさらに伸ばし、英語学習の背景にある文化に対する理解を深め、視野を広げ、国際 感覚を養うことによりグローバル人材の育成を図る。	- 3年間をとおして英語科の生徒全員がCEFRのBIレベル相当またはそれ以上英語力を身に付けることを目標とする。 ・英語料における行事やNET・ALT等の人材を積極的に活用しながら、必要な英語力と国際感覚を見て付けた人材の育成を図る。 ・海外の学校や機関等との交流について、より発展的な内容となるよう充実を図る。					

		自己評価						
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	評価(月)	結果の考察と次年度の課題	平均	学校関係者評価委員会 からの意見
	授業改善と教科指導力の向上	授業アンケートの項目を改訂するとともにアンケートの反省を授業改善に反映 し、効果を検証する。 教科の授業における探究活動の充実と総合的な探究の時間との連携にICT	授業アンケート 学校生活アンケート ポートフォリオ					
		端末を十分に活用する。 生徒自身が学びを振り返り、学習改善に取り組むことができるよう適切な指導	授業アンケート					
教科指導	観点別評価の効果的な活用	と評価を行う。 観点別評価の妥当性や信頼性を高めるため教科主任会や教科会議を受けて 教務課で検討し改良を重ねる。	パフォーマンス課題ルーブ					
	主体的・対話的で深い学び	共通課題だけでなく、希望制(応用)のもの、自ら設定した課題などに取り組ませ、生徒一人ひとりに対応した形成的評価を行う。						
	の実践	予習段階での疑問点の話し合い、生徒同士の学び合い、生徒による説明やプレゼンテーションの場を増やす。						
			「キャリア活動」報告書					
	寛容	「大学出前講座」「卒業生に学ぶ」「キャリ活」など社会とつながることで、キャリ活の促進、すなわち進路意識を高める。 課外については、今後必要となる学力を見据え、生徒が受けたいと思う授業	ホートンまりオ					
進路指導	キャリア形成に係る 学力向上	球がにしいては、当後必安とはの子力を見添え、主使が安けだいと思う技术 を各教科で練り、実践する。 模試については、生徒の学力定着状況を共有しあう時間を設けることで、授	課外受講に関するアンケート 模試分析資料					
		業・課外・課題等に生かせる体制をつくる。 生徒の成長を軸に置き、自由に意見を交わし合える准路課の雰囲気をつく						
	生徒の「学び」「心」「挑戦」に 寄り添い、その成長を支援で きる組織づくり	る。 調査書や推薦書等の生徒の進路に関わる書類は、不備がないようダブル チェック等を行う体制を継続する。	卒業生最終進路先アンケート 進路課アンケート					
	溌溂とした学校生活を送り自 己実現を図るとができる久留	全職員で生徒の自己実現をサポートしていくことで、生徒の自己肯定感の涵 養を図る。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト					
	米高校の実現	転退学者「O」を目標に、生徒にとっての居場所となれる学校づくりを組織的に 行う。	ポートフォリオ					
生徒指導	安心安全な久留米高校の実 現	他者を尊重する態度を育成し、「いじめのない学校」をつくりあげる。	学校生活アンケート いじめに特化したアンケート					
	現	登下校中事故「0」を目標に、生徒会とタイアップし計画的な啓発を行う。	家庭用チェックリスト					
	積極的生徒指導をとおした諸 問題の未然防止	面談週間の設定および学年団との各種連携をとおして、諸問題の芽を未然に 摘み取り、早期解決を図る。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト					
	I-DAZ - STANKING II.	各種機関との連携を密にし、安全安心な学校づくりを推進する。 学校の全教育活動を通じて自立した大人としての規範意識の向上と判断力の	生活習慣調査					
	誠実な久高生の育成	すびの主教育/A別で通じて目立じた人へとしての機能急減の同工と刊刷がの 育成を図る。 生徒自らが理解し遵守する校則であることで、「久高生として」の自覚を促して	学校生活アンケート					
		いく。 生徒主体での学校行事の運営をとおして、久高に対する愛校心の醸成とリー					-	
特別活動等	各種行事をとおした社会性と 主体性の育成	ダーシップおよびフォロワーシップの醸成を図る。 学校行事および日常のクラス活動をとおして、他者を尊重する心と共同する 態度を育成する。	学校生活アンケート ポートフォリオ					
	生徒会活動・部活動をとおし	ボランティア活動を軌道に乗せ、地域との共生を図る久高生を育成する。	ポートフォリオ					
	た久高文化の創造	生徒会活動および各種委員会活動の活性化を図り、久高のリーダー育成を 図る。	ホートンオリオ 行事振り返りアンケート					

安心・安全な学校	円滑な健康診断を実施するために、計画を早めに立てるとともに、組織的に 生活を健康 協力体制を整える。	に施するために、計画を早めに立てるとともに、組織的に 保健アンケート 熱中症予防講演会後のアン	
に送れる環境の	構築 保健委員を中心に感染症対策や熱中症対策を行い、生徒が主体的に「健康」 に対して取り組める環境づくりを行う。	※染症対策や熱中症対策を行い、生徒が主体的に「健康」 _{ケート}	
健康指導・主体的に学習環	美化委員を中心に、美化点検や掃除道具の管理を行い、落ち着いた学習環境を整える。	美化点検や掃除道具の管理を行い、落ち着いた学習環 美化点検アンケート	
環境整備生徒の育成	生徒会や美化委員と新校舎のより効果的な清掃方法について協議し、全校 生徒に対して啓発活動を行う。	全新校舎のより効果的な清掃方法について協議し、全校	
生徒が溌溂としたを送れるための			
維持できる支援の			
系統的な探究活	生徒一人一人の探究活動を推進するために活動内容を見直し、カリキュラム の改善を行う。	R活動を推進するために活動内容を見直し、カリキュラム ポートフォリオ	
元がよりようたっと	年間を通じて身につけたい資質・能力(目標)を共有し、活動ごとに内容の フィードバックを行う。	けたい資質・能力(目標)を共有し、活動ごとに内容の	
NEW 「問い」を深める		ボートフォリオ	
セサミプラン 計画・運営	テキストや資料を活用し、深まる「問い」の設定や外部調査による学びをとおして、質の高い考察や提案につなげる。		
図書館の活用を	図書委員を中心に図書館の利用を促進する企画を計画し、読書に親しむ意識 面したキャリ の向上を図る。	図書館の利用を促進する企画を計画し、読書に親しむ意識 図書館利用アンケート 図書館の利用者数・貸出数	
ア教育の推進	進路部内外と連携し、一貫した指導を実施することで、生徒の進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。	、一貫した指導を実施することで、生徒の進路実現に向 の統計	
グローバル人材	NET・ALTや大学・企業と連携しながら、高度な英語力、異文化理解力、国際 感覚を身につけた人材を育成する。	業と連携しながら、高度な英語力、異文化理解力、国際 材を育成する。	
7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	英語科行事(英語研修・大学訪問等)を精選し、授業等で習得した英語力を発揮することができる場面を数多く設定する。	場面を数多く設定する。 英語科座談会での	
英語科育成英語科に対する		強化する。	
醸成	国内外で活躍されている卒業生や外部人材を招き、卒業後の進路や生き方・ 考え方、英語学習の意識を深める。	意識を深める。	
英語科広報活動	校内スピーチ暗唱大会やワクドキ交流会等で、中学生や保護者を本校に招待 し、英語科生徒のいきいきとした姿をPRする。	きいきとした姿をPRする。	
X1211/218/23	英語科、教務課や企画振興課と連携しながら、英語科の魅力を外部に発信 し、効果的かつ親身になった生徒募集を行う。	・画振興課と連携しながら、英語科の魅力を外部に発信	
	本校に必要な内容の研修を実施し、教育活動の充実と指導力の向上を図る。	O研修を実施し、教育活動の充実と指導力の向上を図る。	
教員研修の充実	若年教員研修の充実を図り、これからの教育の担い手を育成する。	実を図り、これからの教育の担い手を育成する。 研修報告	
研究・研修	校外研修への積極的な参加を促し、職員の研修意識を高める。		
	全学年、年に2回実施する人権教育の内容を再考し、生徒の人間的成長を促す。	恒类 了 、/广	
授業改善の推進	各教科でICT(生徒1人1台端末)の活用の在り方を協議し、さらなる拡大へつなげる。	人「台端末」の活用の在り方を協議し、さらなる拡大へう パフォーマンステストルーブ リック	
	研究授業では、他教科も含め多くの教員が参観できる体制を整え、授業改善 の推進を図る。	科も含め多くの教員が参観できる体制を整え、授業改善	
情報セキュリティ	県の方針、規約を周知し、安全な利用の徹底を行う。 環境の改善	知し、安全な利用の徹底を行う。 学校生活アンケート	
INTA C (Z) / 1	情報リテラシーを醸成する教育を促進する。		
情報課職員のネットワー	ク機器利用 ポータルサイト、ネットワークサーバーの整備を行う。	職員アンケート	
環境の改善	学校ホームページの刷新、および職員による編集へ移行を進める。	刷新、および職員による編集へ移行を進める。	
ICT機器の利用語	chromebookの利用管理と利用の促進を図る。 場合改善	字校生活アンケート	
1019年間でクイリバル	教室のICT環境の整備と整理を行い、誰もが使いやすいスタンダードを構築する。	備と整理を行い、誰もが使いやすいスタンダードを構築す	

	学校内外へ向けての広報活	生徒をとおしての後方の機会を増やし、本校生徒の姿や学校の生活を積極的に発信する。また、英語科に関しては、より体験的な広報活動を目指す。	新入生アンケート				
	動の充実	本校英語科、普通科の強みや特徴を明確化、職員間での共有化、時期や方 法等を考慮して戦略化することで、効果的に広報活動を行う。	広報活動ごとのアンケート				
	W-141100 AT - +-	儀式の要項作成は各係との調整を徹底し、意見を反映させる。	(-tenen-				
企画・広報	儀式などの企画、立案	職員、生徒へ早めに計画を提示することで生徒指導を行いやすくし、儀式の 教育的側面を重視する。	- 行事振り返りアンケート				
	職場環境の整備	行事予定の調整を効率的おこない、職員の意識を共有できる体制を整える。	- 行事振り返りアンケート				
	4或4数块5500 亚 岬	業務の整理と効率化を図る。	11 争城り返り/ ファート				
)	多様性を認める心の広さを持ち、周囲を巻き込み活動できる協調性の育成を 図る。	生活習慣調査				
	心身の調和と人間力の伸長	職員間の情報交換を密に行い、協力して業務を遂行する。	ポートフォリオ				
a Military	久高生としての帰属意識と基	久高生としての自覚を促し、落ち着いた生活習慣・学習習慣を身に付けさせ る。	授業アンケート				
1学年	本的な生活習慣の確立	健康に対する自己管理能力を養い、出席皆勤を目標とさせる。	ポートフォリオ 進路希望調査				
	主体的かつ意欲的に学ぶ態	予習・授業・復習のサイクルを徹底させ、基礎・基本の定着を図る。	学校生活アンケート				
	度の育成	学部・学科に対する知識を身に付けさせるとともに、オープンキャンパスや体験活動への積極的な参加を促し、進路意識を早期に持たせる。	いじめに特化したアンケート 家庭用チェックリスト				
	誠実・叡智・気魄を体現する	「久高生として」の自覚をもち、落ち着いた生活習慣と学習習慣を身につけさせる。予習・授業・復習のサイクルを確立させ、基礎学力の定着を図る。	生活習慣調査				
	生徒の育成	自らの目標に力強く進む生徒を育てる。また、自らの健康管理を徹底させ、出席皆勤率50%以上を目指す。	ポートフォリオ 進路希望調査				
2学年	誠実を体現できる生徒の育	学校行事や校外活動等への意欲的な参加を促し、集団の中での自らの役割 を考えさせ人間的成長を図る。	学校生活アンケート				
274	成	共に学ぶという意識を持たせ、他者を認め、正しい人権感覚を養わせる。	いじめに特化したアンケート 家庭用チェックリスト				
	学校の中核の担い手として	学校行事、部活動、学校生活の中核として学校活性化に尽力させることで「久高生とし」自覚を持たせる。	授業アンケート				
	活躍できる人材の育成	生徒会活動や修学旅行、久高祭りなどの学校行事等をとおして、「成功体験」 や「主体的な活動」をとおして自尊感情の高い生徒の育成を図る。	ポートフォリオ				
	人間的な成長および進路実	第一志望の進路実現に向けて誠実かつ最後まで粘り強く挑戦させることに よって人間的な成長を図る。	生活習慣調査ポートフォリオ				
	現	周りを慮った言動や「受検は団体戦」であるということを常に意識し、行事等をとおして学年全体で取り組んでいく集団づくりを目指す。	進路希望調査 授業アンケート				
0###	体育祭等における学校行事	久高生かつ最上級生としての自覚を持ち、周りを見て考えて率先して行動を 起こすことで下級生のよき模範となり、リーダーシップを存分に発揮させる。	12 1 - 111				
3学年	の成功	高校生活の集大成の一つとして、悔いの残らぬよう(その後、受験に向かって 適進できるよう)一丸となって体育祭を成功させる。	ポートフォリオ				
	D-11-1-10-2-	最上級生としての自覚、人権尊重、感謝の心、気配りの心、気付く力、工夫する力等をもとに、自己決定をしつつ学校生活を送らせる。	学校生活アンケート				
	自立した大人の育成	成人年齢にふさわしい考え方や立ち振る舞いを身に付けさせ、諸問題に対応できる能力の育成と向上を目指す。	いじめに特化したアンケート 家庭用チェックリスト				
		学校経営に積極的に参画し、各分掌と情報共有を図りながら、効果的な予算 執行と事務処理を行う。					
事務室	教育目標実現に向けた効果 的な事務処理の実施	生徒・保護者に対し、丁寧でわかりやすい情報提供を行う。	父母教師会アンケート				
		効果的な校舎改築工事を行うとともに、安全確保に努める。]				

令和 6 年度 学校評価書 (実施段階)

高等学校

福岡県立



スクール・ミッション グローバルな視野を持ち、伝統を守りつつ社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成する学校							
	充実した英語教育や海外修学旅行等の行事を含む教育活動を通して、自国と他国の文化への理解を深めるとともに、独自の課題研究活動を通じて、相互理解力や価値創造力、社会貢献意識を持ち、社会課題の解決に取 り組む人材を育成します。						
	クラアユエーンコン・ハリンー (育成を目指す資質・能力に 関オスちな)	〇海外修学旅行や英語科行事をとおして、国際社会で生きる資質・能力を養う。 〇学校行事をとおして、何事にも積極的に取り組む自主性・自律の精神を育成する。 〇教育活動をとおして、知育・徳育・体育の調和のとれた人間形成を目指し、自己の強みを諸活動に生かす姿勢を育む。					
スクール・ポリシー (三つの方針)	ガリキュフム・ボリンー (教育課程の編成及び実施に 関する大会人)	〇総合的な探究の時間におけるディベートや課題研究をとおして「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 〇本校独自の課題研究「NEWセサミブラン」をとおして地域の良さを再発見するとともに、世界や未来の発展に寄与する志の育成を図る。 〇生徒の興味関心を引き出す授業の実践により、主体的に学習に取り組む態度を育成する。					
	(入学者の受け入れに	〇学習や部活動及び社会貢献活動に主体的に取り組む人 〇夢や目標の実現を目指し、何事にも積極的に取り組む人 〇多様性を尊重し、異文化交流に意欲的に取り組む姿勢を持つ人					

	学校運営計画(4月)		
学校運営方針			評価
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	(総合)
令和5年度は、新型コロナウイルス感染が が5頭に移行し、諸行事等を従前のスタイ ルに戻して実施することができた。改めて、 行事の意義、在り方を再検討する良い機会	主体的に適切な判断ができる資質・能力の育成を図り、失敗を恐れず物事に積極的に挑戦させることにより、生徒の人間的 成長を促す。	教育活動において、生徒が自己決定し行動する機会を積極的に設定する。生徒理解や生徒の 発達・育成に係る専門的知識を得るための職員研修を行う。成年年齢の18歳引き下げに伴う諸 問題に対して、適切に対応できる知識を付けさせるとともに、自立した大人としての規範意識の 向上と判断力の育成を図る。生徒が収内外の活動をとおして他者や地域に貢献できる機会を積 極的に設定する。	
	工作的「別面的」には、子いて大切するにのの技术以音でとおして、知識「以能の目は、心を力、刊画力、及切力的ない工作的「一一一一、一、	親点別学習評価の適切な実施をとおして、評価と一体化した指導の予案を図り、指導と評価の 改善サイクルの確立につなげていく。ICTの活用をはじめ多様な指導手法を取り入れ、学習意 欲を喚起し学習内容の理解を深めるわかりやすい授業づくりに取り組み、学力の伸長を図る。	
で、生徒の自己肯定感や生きる力の伸長 図ることができた。令和4年度から導入し	工作生性に分び、女心・女主な子校工力を送れる環境の情報を自拍することに、付かは動や印が到すをCのして世間の助力 マロ標準はこうから主義の「終年の本件と図」	関係者の連携ときめの細かな支援の充実を図り、中途での転・選学者の防止に努める。生徒と の対話を生徒理解の重要な手段の一つとして捉え、二者面談等の充実を図る。生徒が心身の 健康を維持し、溌剌とした学校生活を送れるよう支援する。	В
の主体性及び積極性の向上に向けて検	生徒が自らの力で生き方を選択できるよう必要な資質・能力を身につけ、生徒が自分らしい生き方の実現を図るための支援を 行う。	生徒の進路意識を高揚するような情報及び機会を積極的に提供し、進路について主体的に考える態度を育成する。生徒の得来のキャリア形成に係る学力向上やキャリアデザイン等の進路 課題解決に向けての支援を行う。NEWセサミブランについて、より「探究」にふさわしい内容への進化を図る。	
こわたって主体的に生きていくことができる E徒を育成し、生徒、保護者から信頼され、 開かれた学校」、「地域に愛される学校」と	「英語を学びたい」という積極的な姿勢をさらに伸ばし、英語学習の背景にある文化に対する理解を深め、視野を広げ、国際 感覚を養うことによりグローバル人材の育成を図る。	3年間をとおして英語科の生徒全員がCEFRのBIレベル相当またはそれ以上英語力を身につけることを目標とする。英語科における行事やNET・ALT等の人材を積極的に活用しながら、必要な英語力と国際感覚を身につけた人材の育成を図る。海外の学校や機関等との交流について、より発展的な内容となるよう充実を図る。	

		自己評価							
評価項目	具体的目標	具体的方策 生徒、保護者 (外部アンケー			評価(3月))	結果の考察と次年度の課題	平均	学校関係者評価委員会 からの意見
	授業改善と教科指導力の向	授業アンケートの項目を改訂するとともにアンケートの反省を授業改善に反映 し、効果を検証する。	授業アンケート学校生活アンケート	В	В		・授業アンケートについて、分析が課題。生徒の学習活動の振り返り、教員の授業改善のため、効果的な時期(5月・10月)に実施する。		
ľ	上	教科の授業における探究活動の充実と総合的な探究の時間との連携にICT 端末を十分に活用する。	ポートフォリオ	Α	В		・ICT端末の活用は、各教科科目の特性に応じて、ICT端末活用が行われた。		・学習活動等で生徒の明るい
教科指導	観点別評価の効果的な活用	生徒自身が学びを振り返り、学習改善に取り組むことができるよう適切な指導と評価を行う。	授業アンケート パフォーマンス課題ル <i>ー</i> ブ	Α	_	В	・観点別評価についてパフォーマンス課題の実践 紹介及びフィードバックを職員会議で実施し、適切	В	姿が素晴らしい。 ・生徒、保護者の価値観が多
***************************************	既無別計画の別末的な店所	観点別評価の妥当性や信頼性を高めるため教科主任会や教科会議を受けて 教務課で検討し改良を重ねる。	リック ポートフォリオ	В	^	В	な指導・評価へつなげられた。 ・実践紹介の機会を継続する。	В	様化し、個に応じた指導等、 生徒のために、引き続き頑 張っていただきたい。
	主体的・対話的で深い学び	共通課題だけでなく、希望制(応用)のもの、自ら設定した課題などに取り組ませ、生徒一人ひとりに対応した形成的評価を行う。	パフォーマンス課題ルーブ リック	Α	В		・実態の把握について十分でない面がある。 ・教科主任会議や研修課との連携を通して、各教		旅りていたたさたい。
	の実践	予習段階での疑問点の話し合い、生徒同士の学び合い、生徒による説明やプレゼンテーションの場を増やす。	ポートフォリオ 学習活動調査	В			科科目の実態を把握し、改善につなげる手立てを とる。		
	進路意識の高揚と主体的に	「久高キャリア・パスポート」を作成し、生徒が先を見通し、自身を客観的に振り返る態度を育成する。	「キャリア活動」報告書	В	Α		・「久高キャリア・パスポート」のデータ移行を行うことができた		
	考える態度の育成	「大学出前講座」「卒業生に学ぶ」「キャリ活」など外部とつながることで、進路意識を高める。	ポートフォリオ	Α	_ ^		・「大学出前講座」「卒業生に学ぶ」等の行事は、 内容を精選して実施したい。		
進路指導	キャリア形成に係る	課外・補習については、今後必要となる学力を見据え、生徒が受けたいと思う 授業を各教科で練り、実践する。	課外受講に関するアンケート	В	В	А	・課外は、前期から後期に減少傾向。受講している 生徒が、基礎・基本を定着し、思考力・判断力・表	Α	・進路指導を含め生徒の指導 全般についてニーズを十分に
定即10.4	学力向上	上 模試については、生徒の学力定着状況を共有しあう時間を設けることで、授 業・課外・課題等に生かせる体制をつくる。	模試分析資料	Α			現力を養える講座を展開したい。 ・模試は、動機づけを高める工夫を行う。	^	組み込んだ対応を継続的に 行ってほしい。
	生徒の「学び」「心」「挑戦」に 寄り添い、その成長を支援で	生徒の成長を軸に置き、自由に意見を交わし合える進路課の雰囲気をつくる。	卒業生最終進路先アンケート	Α	A		・課として、協力しチェック体制を構築できた。		
	きる組織づくり	調査書や推薦書等の生徒の進路に関わる書類は、不備がないようダブル チェック等を行う体制を継続する。	進路課アンケート	Α			・更なる組織的業務遂行にに取り組む。		
	溌溂とした学校生活を送り自 己実現を図るとができる久留	学業や部活動において、全職員で生徒の自己実現をサポートしていくことで、 生徒の自己肯定感の涵養を図る。	学校生活アンケート - 家庭用チェックリスト ポートフォリオ	В	R	B B B	・部活動生の頑張りにより部活動での自己実現が図れた。		・生徒指導部の目標に転退学 生徒ゼロを目指し、数年前から転退学生徒が減少している。 ・生徒指導に難しい場面もあるが、数値面でさらに改善努力をしてほしい。
	米高校の実現	転退学者「O」を目標に、生徒にとっての居場所となれる学校づくりを組織的に 行う。		С			・転学者が複数名でたことが大きな反省点。全員 が進級卒業できる学校づくりをすすめる。		
生徒指導	すべての生徒が安心して学 校生活を送ることができる久	全職員での様々な場面での講話を通して、生徒に他者を尊重する態度を育成 し、「いじめのない学校」をつくりあげる。	学校生活アンケート いじめに特化したアンケート 家庭用チェックリスト	В	R		・いじめの県報告が4件。積極的な認知は良かった。根絶に向け、全職員でアンテナを高く生徒を見守る。		
	留米高校の実現	登下校中および部活動中の事故を未然に防ぐため、啓発・評価・改善等を積 極的に行う。		В			・登下校中の事故→8件。 <u>生徒会の運用促進を図る。</u>	_	
	積極的生徒指導をとおした諸	面談週間の設定および学年団との各種連携を通して、諸問題の芽を未然に 摘み取り、早期解決を図る。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト	Α	B		・スマホマナーに関する事案発生。生徒会を利用した啓発を促進する。		
	問題の未然防止	携帯および貴重品の管理徹底を図るなど、ルールに則った安心安全な学校づくりを推進する。	生活習慣調査	В			・SNS利用に関する教室の実施形態を変更し、実 効性を高める。		
	主体的に適切な判断ができ	学校の全教育活動を通じて自立した大人としての規範意識の向上と判断力の 育成を図る。	学校生活アンケート	В	В		・諸問題の要因となる規範意識育成に向けて、時間や清掃など日常の環境整備を促す。		・一人一人の生徒が活躍でき
	る資質能力の育成	生徒自らが理解し遵守する校則であることで、「久高生として」の自覚を促していく。	ボートフォリオ	Α			・行事を通して、生徒の主体的な参画を促し、判断力を培う。		
特別活動等	各種行事およびクラス活動を	生徒主体での学校行事の運営をとおして、久高に対する愛校心の醸成を図る。	学校生活アンケート	Α	A	Α	・体育祭の成功(人文字の一部復活と、スタンド設置に伴う熱中症対策の徹底ができた)	Α	る場を多く設けていることは、 大変良い点であると感じる。
	とおした誠実な心の育成	学校行事および日常のクラス活動をとおして、他者を尊重する心と共同する 態度を育成する。	ポートフォリオ	Α	,		・実行委員を中心とした組織的な活動の継続。		・生徒の自主性を育む教育を 重視してほしい。
	生徒会活動・部活動をとおし	ボランティア活動を軌道に乗せ地域との共生を図る久高生を育成する。	ポートフォリオ	В	A		・ボランティア活動の促進(久高前駅周辺清掃活動が軌道に乗り始めている)		
	た久高文化の創造	生徒会会議・部長会議等を定例化させ、久高のリーダー育成を図る。	行事振り返りアンケート	Α	,		・新生徒会への移行にともない、会議を定例化し 自治的な生徒会を育成。		
	安心・安全な学校生活を健康	健康診断の計画を早めに立てる。また、組織的に協力体制を整え、円滑な健康診断を実施する。	保健アンケート熱中症予防講演会後のアン	В	A		・健康診断を円滑に実施することができた。組織的な運営を目指す。		
	に送れる環境づくり	保健委員を中心に感染症対策や熱中症対策を行い、生徒が主体的に「健康」 に対して取り組める環境づくりを行う。	ケート	Α			・熱中症対策講演会や保健委員との連携により、 学校行事を健康面でサポートできた。	1	
健康指導·	主体的に学習環境を整える	美化点検や掃除道具の管理などの美化委員の活動を行い、落ち着いた学習 環境をつくれるようにする。	- 美化点検アンケート	В	В	В	・美化点検を美化委員長を中心に運営できた。 ・生徒が主体的に校内を美しく保てる啓発活動を 継続。		・高校生は、悩みも感じやすい世代であり、学校での居場所を多くつくっていただけると 有難い。
環境整備	生徒の育成	新校舎に対応した清掃方法を美化委員・保健委員と協議し改善するとともに、 学校を美しく保つ意識を高める。		В					
	生徒が溌溂とした学校生活を送れるための心の健康を	学年・養護教諭・SCとの連携を密に図れる体制を整え、生徒の情報を全職員で共有できる環境をつくる。	SC活用状況報告 学校生活アンケート	В	В		・職員研修等で、配慮が必要な生徒の情報共有ができた。		
i	を送れるための心の健康を 維持できる支援の充実	保健室の利用状況を学年職員と共有し、生徒の状況把握に努める。	保健室来室状況	Α			・SC・SSWとの連携が図れた。生徒の情報を教科 担当者まで共有できるようにする。		

	系統的な探究活動の充実	生徒一人一人の探究活動を推進するために活動内容を見直し、カリキュラムの改善を行う。	ポートフォリオ	В	В		・カリキュラム改善について順次実施できた。 ・生徒へのフィードバックや活動全体を見通した計	В	・NEWセサミブランについて は振り返りと、見直しを大切に
	米杭的な抹光店動の元美	年間を通じて身につけたい資質・能力(目標)を共有し、活動ごとに内容の フィードバックを行う。	学習活動調査	С	В		ー生にハックマンに動き体を見通した計画作成により、改善点を修正したい。		
NEW	「問い」を深める調査・研究の	ICT機器を活用した事前学習を充実させ、調査活動の質の向上に努める。	ポートフォリオ	В	В	В	・「問い」の設定では、生徒に知識だけでなく、探究 の経験を発展的に蓄積させる取組が不足。		
セサミプラン	計画·運営	テキストや資料を活用し、深まる「問い」の設定や外部調査による学びをとおして、質の高い考察や提案につなげる。	授業アンケート	В	В	ь	・探究活動における興味・関心の「深め方」を学ぶ 機会を設定する。		していただきたい。
	図書館の活用を通したキャリ	図書委員を中心に図書館の利用を促進する企画を計画し、読書に親しむ意識の向上を図る。	図書館利用アンケート 図書館の利用者数・貸出数	Α	А		・久高祭や図書館フェアに向けて、図書委員会を 中心に計画できた。		
	ア教育の推進	進路部内外と連携し、一貫した指導を実施することで、生徒の進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。	の統計	В	^		・生徒の進路意識を高めるために、様々な分野の 書籍を継続的に増やす。		
	グローバル人材の育成	NET・ALTや大学・企業と連携しながら、高度な英語力、異文化理解力、国際 感覚を身につけた人材を育成する。		Α	В		·行事や指導体制を継続的に見直す。 ·大学や外部団体、卒業生等と連携して、英語科と		
	プロ アバルス物の自成	英語科行事(英語研修・オーストラリア交流等)を精選し、授業等で習得した英語力を発揮することができる場面を数多く設定する。	英語科座談会での	В	ь		しての文化を醸成する。		
英語科育成	英語科に対する帰属意識の	英語科設置30周年(R6年度)を記念する行事や企画を行い、在校生と卒業 生の交流の場を設定する。	生徒向けインタビュー	С	В	В	・1・2年生合同APU訪問や、2・3年生ディベート、 異文化理解講座などで、学年を超えた交流ができ	В	・中学校や地域へより適切な 情報提供を行い、英語科の多
央暗件目成	醸成	月に1回のペースで英語科集会を実施し、メンター制度(縦割り班)により、3 学年間の結束を強化する。		В	В	Ь	た。科集会を増やしたい。 ・30周年のクリアファイルを作製できた。	В	様性を発信することを期待し たい。
	英語科広報活動の充実	校内スピーチ暗唱大会やワクドキ交流会等で、中学生や保護者を本校に招待 し、英語科生徒のいきいきとした姿をPRする。	中学生向けアンケート	Α	В		・スピーチやディベートで九州大会や全国大会に 出場でき、充実した1年間となった。		
	火品付瓜取 / 加製の元夫	英語科、教務課や企画振興課と連携しながら、英語科の魅力を外部に発信 し、効果的かつ親身になった生徒募集を行う。	中子王同けアンケード	В	ь		・広報活動を工夫する。		
		本校に必要な内容の研修を実施し、教育活動の充実と指導力の向上を図る。	研修報告	В			・基本研修は十分に実施できた。特に新規採用教員には、各分掌の先生方に協力頂き、毎週の研修		・研修は十分行っていただい ていると感じている。 ・時代の要請にこたえた研修 内容を実施し、学校発展に寄 与していただきたい。
	教員研修の充実	若年教員研修の充実を図り、これからの教育の担い手を育成する。		В	В	В В	を実施できた。 ・校内職員研修は順調に実施できた。		
研究•研修		校外研修への積極的な参加を促し、職員の研修意識を高める。		В			・校外研修は参加が少ない。広報を行うと共に、先 生方に「ゆとり」を創出したい。	В	
wi ૠ ' wi iis		全学年、年に2回実施する人権教育の内容を再考し、生徒の人間的成長を促す。	-	Α			・人権教育で、担当を中心に会議を開催し、指導 内容を検討できた。 にT活用授業について、若手の教員が、研究授 業等を通じて発信し共有できた。		
	授業改善の推進	各教科でICT(生徒1人1台端末)の活用の在り方を協議し、さらなる拡大へつなげる。		В	В				
		研究授業では、他教科も含め多くの教員が参観できる体制を整え、授業改善 の推進を図る。		В			・業務を整理し、研究授業の参観者を増やす。		
	情報セキュリティ環境の改善	県の方針、規約を周知し、安全な利用の徹底を行う。	学校生活アンケート	В	В		・より周知を徹底すべきものもあった。 ・リテラシーの観点からも、生成AIIについて規約を		
	情報とイエクアイ環境の改善	情報リテラシーを醸成する教育を促進する。	子以工加ノンノー	В	Ь		整備する。		
情報課	職員のネットワーク機器利用	ポータルサイト、ネットワークサーバーの整備を行う。	職員アンケート	В	C	В	・ホームページの更新頻度を高める。	В	情報共有等の情報発信
日中以中本	環境の改善	学校ホームページの刷新、および職員による編集へ移行を進める。	新入生アンケート	С	U		・ポータルの活用の留意点を周知できた。	В	力の向上を期待します。
	ICT機器の利用環境改善	chromebookの利用管理と利用の促進を図る。	学校生活アンケート	В	В		・chromebookの利用に関する誓約書など、生徒への配備に備え。管理を徹底し、故障などを減らす。		
	101版報の利用環境以吉	教室のICT環境の整備と整理を行い、誰もが使いやすいスタンダードを構築する。	授業アンケート	В	ь		・リアテンダントの活用を考査以外にも広げる。		
	学校内外へ向けての広報活	本校生徒の姿や、学校の活動を積極的に発信する。	新入生アンケート	Α	Α		・新入生アンケートの結果を受けて、学校案内など が改善できた。		
	動の充実	本校生徒によるボランティアの機会を増やし、広報に生かす。	広報活動ごとのアンケート	Α	_ ^		・夏休みに卒業生による中学校訪問を企画予定。		
企画•広報	儀式などの企画、立案	儀式の要項作成は各係との調整を徹底し、意見を反映させる。	行事振り返りアンケート	В	В	٨	・式典等について計画的に立案できた。 ・関係者による打ち合わせ行い、円滑に実施でき	٨	・中学校や地域へのより効果 的な情報提供を行っていただ
正岡-1240	放れなどの正四、立来	職員、生徒へ早めに計画を提示することで生徒指導を行いやすくし、儀式の 教育的側面を重視する。	コチルスソルムソノンソード	В	٥	A	・		的な情報提供を行っていただきたい。
	監長環境の数 機	行事予定の調整を効率的おこない、職員の意識を共有できる体制を整える。	行事振り返りアンケート	Α	_		·父母教師会関係、中学校訪問などの業務内容を 整理できた。		
	職場環境の整備	業務の整理と効率化を図る。	11 尹城り込め, ノソート	Α	Α		・次年度の行事予定も早めに取りかかり、2学期末 には次年度を提示することが出来た。		

	基本的な生活・学習習慣の	久高生として、落ち着いた生活習慣と安定した学習習慣を身につけさせる。	生活習慣調査ポートフォリオ	В	В		・職員間の連携により、生徒は落ち着いた学校生活を送ることができた。		
	確立	健康に対し、自己管理する能力を身に付けさせ、出席皆勤を目指させる。	71. 128 78	В	Ь		・定期的学習時間調査実施により、家庭学習の状況を確認し、教科間で週末課題を調整する。		
1学年	主体的に学び	予習・授業・復習のサイクルを確立させ、基礎学力の定着を図る。	授業アンケート ポートフォリオ	В	В	В	・進路部と連携した計画的HRの実施(学習意識を変化)	В	
17-7	挑戦意欲をもつ態度の育成	学部・学科の知識を身に付けさせ、オープンキャンパスや体験活動への積極的な参加を促し、学習意識、進路意識を早期に持たせる。	進路希望調査	В	ם		・セサミ科と進路学習調整	5	
	安心・安全な人間関係の育	行事や部活等を通して、久高生としての自覚を持たせ、学年としての集団意 識を高くする。	学校生活アンケート いじめに特化したアンケート	Α	Α		・学年行事を通じた、企画・運営経験によるリーダー育成(生徒会や体育祭、久高祭に向け継続)		
	成	自分の言葉に責任を持たせ、SNS等の使用モラルも含めて、いじめのない人間関係を構築させる。	家庭用チェックリスト	Α	A		・久高生としての意識向上		
	MY HX E XIVE C PYXT I W	久高生としての自覚をもち、落ち着いた生活習慣と学習習慣を身につけさせ る。予習・授業・復習のサイクルを確立させ、基礎学力の定着を図る。	生活習慣調査ポートフォリオ	В	В		・目標達成に向けて誠実に取り組む生徒が増えた。		
	生徒の育成	継続した取組による力をつけるため、234人全員の進級および出席皆勤率 50%以上を目指させる。	ь		・困難な場面でも継続的に努力する大切さを実感 できる場面を設定する。		・久留米高校の生徒は、本当にいい生徒であると感じる。し		
2学年	主体的に学び、人間的成長	学校行事や校外活動等への意欲的な参加を促し、集団の中での人間的成長 を図る。	学校生活アンケート いじめに特化したアンケート 家庭用チェックリスト	Α	В	В	・昨年度目標の「周りとの関わりを通した人間性および心の成長」を継続し、成果があった。 ・SC等と連携し、学校行事や校外活動を通して、 適切な機会づくりや声掛けを行う。		かしながら、現在の高校生は 心が不安定であり、先生方も 多くご苦労されていると思う。
274	や人権感覚の育成	共に学ぶという意識を持たせ、他者を認め、正しい人権感覚を養わせる。		В	ь			_	今後も、学校と家庭とが協力し、相互理解を図り教育して
	学校の中核の担い手として	久高生としての姿を示すことで1年生のお手本となり、3年生を後押しすること により中核として学校活性化に尽力させる。	授業アンケート	В	В		・久高祭、体育祭、修学旅行等において、様々な 役割に生徒が立候補し、2学年の自覚や積極的姿 勢がみられた。 ・行事以外でも動けるリーダーを育成する。		いくことが大事であると感じ る。 ・生徒のいきいきと活動する
	活躍できる人材の育成	修学旅行や他の様々な学校行事等を通して、多くのリーダーの育成を図る。	ポートフォリオ	В	Ь				姿は元気をいただきます。
	ナカドエのみいお 心主の	第一志望の進路実現に向けて計画を立てて取り組ませ、最後まで粘り強く挑 戦させることによって精神的成長を図る。	生活習慣調査 ポートフォリオ	В	В		・普通科において、文 I 、文 II の混合クラスを編成		
	進路実現	「受験は団体戦」を合言葉に授業や課外、行事を通して学年全体で頑張る集団づくりを目指す。	進路希望調査 授業アンケート	В	ь		した。教科としては単位数や学習目標、内容、進度等の違いが多く、分掌の立場からは業務の煩雑		
3学年	学年 体育祭の成功 自立した大人の育成 -	率先して行動を起こすことで下級生のよき模範となり、リーダーシップを存分に 発揮させる。	ポートフォリオ	Α	Α	В	さが増し、クラス経営が難しかった。検証により改善したい。 ・遅刻、欠席の指導を学年全体で行う機会を持て	В	
07-		高校生活の集大成の一つとして、一丸となって体育祭を成功させる。	n. 12a2a	Α	Α		・建刻、欠席の指導を字年全体で行う機会を持てなかった。学年全体として生徒を支援する体制を整えたい。 ・大学入試多様化により、早期の進路決定者が増加した。進路決定後の指導について、効果的な内容を検討する。	5	
		最上級生としての自覚、人権尊重、感謝の心、気配りの心、気付く力、工夫する力等をもとに、自己決定をしつつ学校生活を送らせる。	学校生活アンケート いじめに特化したアンケート	В	В				
		成人年齢にふさわしい考え方や立ち振る舞いを身に付けさせ、諸問題に対応 できる能力の育成と向上を目指す。	家庭用チェックリスト	В	ь		ל נמאן בים (ט מינו און בים (ט מינו און בים (ט מינו און בים (ט		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

・生徒がより落ち着いて学校生活を送れるように、学校行事の精選等校内行事を見直す。

・面談期間の機会を増やすことで、生徒の変化に早期に対応できる体制を整える。

・時制を柔軟に変更し、会議時間や生徒のための時間を確保する。

・時代の要請に応じた授業改善に対応するために研修形態を検討する。

学校関係者評価						
評価(総合)	自己評価は					
	A:適切である					
_	B: 概ね適切である					
В	C: やや適切でない					
	D:不適切である					
評価	項目以外のものに関する意見					
特になし						